

## 秦野市廃棄物対策審議会平成26年度第2回会議概要

1 日 時 平成26年11月21日(金)午後1時～午後4時45分

2 場 所 秦野市役所西庁舎3階会議室

3 出席委員 10名(欠席者4名)

役職	氏名	所属
会長	原田 一郎	東海大学教養学部人間環境学科特任教授
副会長	有田 圀彦	秦野市自治会連合会
委員	小栗 和也	東海大学教養学部人間環境学科准教授
委員	中島 正彦	秦野市商店会連合会
委員	郡司 文夫	神奈川県宅地建物取引業協会湘南中支部秦野地区
委員	小野寺 智美	秦野市PTA連絡協議会
委員	古谷 典子	秦野市食生活改善推進団体
委員	小林 裕子	公募市民
委員	大塚 満津子	公募市民
委員	松岡 守	公募市民

## 4 会議概要

(1) 施設見学 13:20～16:30

ア 伊勢原清掃工場(40分)

不燃ピット、90トﾝ炉

イ 栗原一般廃棄物最終処分場(40分)

ウ はだのクリーンセンター(70分)

(2) 閉会

・第1回審議会における質問への回答資料配布及びごみ減量啓発DVDの配布

「ペットボトルの処理について」

「県内各市の廃棄物処理状況」

「最終処分場の埋立て量の推移」

「ごみを減らす3つのR～今すぐ私たちにできること～(DVD)」

(3) 委員からの主な質問

① 栗原最終処分場の埋立て量の残量はどのくらいか。

(回答)

51,000トンの程度の残量はある。

② 焼却灰の資源化を全量できないのか。

(回答)

資源化は経費がかかる。不燃の残さの資源化1トン約39,000円、埋立て費用は約29,000円である。行政も様々な施策を実施しており、その相互関係において、できるだけ、焼却灰の資源化を実施していきたいと考えている。

5 配布資料

- ・ 第2回秦野市廃棄物対策審議会 次第
- ・ 第2回廃棄物対策審議会 行程表
- ・ 第2回廃棄物対策審議会施設見学による配車表
- ・ 第1回廃棄物対策審議会における質問への回答

(1)資料1 「ペットボトルの処理について」

(2)資料2 「県内各市の廃棄物処理状況」

(3)資料3 「最終処分場の埋立て量の推移」

- ・ ごみ減量啓発DVD

「ごみを減らす3つのR～今すぐ私たちにできること～」

- ・ 伊勢原清掃工場パンフレット
- ・ はだのクリーンセンターパンフレット
- ・ 事業の概要（平成26年度版） 秦野市伊勢原市環境衛生組合